



# 九州漁業調整事務所広報ページ よこわ



## 九州3県のお魚コーナー事情

### 鮮魚コーナーを見てみよう

皆さんはスーパー等のお魚コーナーを利用していますか？

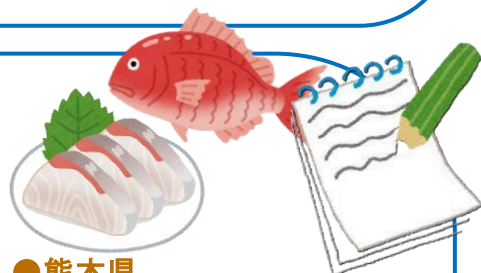
地域によって獲れる魚も様々であり、また広く流通できない魚もあるので、スーパーの中でも地域性が感じられるコーナーではないかと思えます。

2026年の2月中旬に、福岡、長崎、熊本の3県に行く機会があったので、スーパーの鮮魚コーナーに立ち寄り、売っている魚種とその産地を比較してみました。



### 結果

結果を整理したものがこちらです。  
(左が魚種(流通名)、右が産地を示しています。)



#### ●福岡県 Aスーパー

#### ●長崎県 Bスーパー

#### ●熊本県 Cスーパー

コノシロ	福岡	アジ	長崎	アラカブ	熊本
サバ	福岡	アラカブ	長崎	マダイ (養殖)	熊本
サワラ	福岡	イサキ	長崎	レンコダイ	熊本
ミズガレイ	福岡	イサキ (養殖)	長崎	コノシロ	福岡
アラカブ	長崎	カキ	長崎	マツイカ	長崎
イサキ	長崎	カマス	長崎	ブリ	長崎
サザエ	長崎	キビナゴ	長崎	ヒラメ	長崎
ヒラス	長崎	サバ	長崎	小アジ	長崎
レンコダイ	長崎	ヒラアジ	長崎	アジ	長崎
ササイカ	山口	ヒラス	長崎	ブリ	鹿児島
マダイ	大分	ヒラス (養殖)	長崎	カンパチ	鹿児島
カマス	鹿児島	マダイ (養殖)	長崎	アカガレイ	鳥取
タラ	北海道	レンコダイ	長崎	タラ	北海道
		タラ	北海道	サンマ	北海道
		タコ	北海道	サケ	チリ
		シジミ	島根	バナメイエビ	インド
		サケ	チリ		
		マトウダイ	NZ		

※ニュージーランド

## 比較・検討 ～魚種や産地の観点から～

調査結果をもとにまとめた表がこちらです。

県	魚種数	うち地元産	地元産率
福岡	13	4	31%
長崎	18	13	72%
熊本	16	3	19%



※ 養殖と天然は別魚種としてカウント

### ①魚種数と地元産の数について

魚種数は、スーパーの鮮魚売り場の広さにも左右されますが、どの県も十数種類の魚種が販売されていました。

地元産に注目すると、長崎県のBスーパーが72%とかなり高い数値となっています。他2県でも長崎県産の魚が多く販売されています。流石は全国2位の漁業生産量を誇る産地といったところでしょうか。

### ②魚種について

魚の種類に注目してみると、アラカブ（カサゴ）やヒラス（ヒラマサ）といった地方名が見られるほか、九州産の養殖魚が多いことなど、地域ならではの特徴が見えてきます。



▲（写真）アラカブ

県ごとに見ていくと、福岡県のAスーパーではアジ・サバ・コノシロなど全国的によく流通している魚が多く並んでいます。

熊本県のCスーパーも同様にこれらの魚が中心ですが、他県産や輸入の魚が比較的多く含まれており、さまざまな産地の魚で構成されている点がかげがえします。

長崎県のBスーパーでは、そうした魚に加え、キビナゴやヒラスなど、より地域らしさを感じられる魚が多く見られるのが特徴です。

## おわりに

今回の結果は、少ないサンプルにより簡易的に調べたものです。仕入れ内容はスーパーごとの特徴にも左右されますが、それでも各県ごとに魚種や産地に違いが見えてくる点は、興味深いポイントかと思えます。

普段の買い物でも、魚の種類や産地に少し目を向けることで、地域ならではの特徴が見えてくるかもしれません。地元や旅先の売り場に注目してみてもいいのではないでしょうか。